

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
21ページに掲載している広報ク
イズの答えと一緒に、気ままなひ
とこと、ちょっと言いたいひとこ
とを、お待ちしております。

読者の伝言板



● ぼくの誕生日、3月11日に東日本大震災がおきました。忘れられない10歳の誕生日になりました。平和な日本、平和な世界を願っています
(佐藤翔太さん 10歳・手形)

● ふるさとが大震災に遭い、胸がつぶれる思いでした。同時に今の当たり前の生活のありがたみを強く感じました。これから寒さが厳しくなりま

● 冬の節電は大変ですね。冷え性の家族があるので暖房関係はあまり節電できそうになりませんが、部屋の中でも厚着するなどしてできる限り努力しています
(ポツキーさん 74歳・濁川)

● 晩秋の晴れた日に買っていただいたチューリップの球根を植えました。春には5色の花が咲く予定ですので、それを楽しみに冬を乗り切りたいと思います。芽が出るの、待って

● 先日、娘と妻と一緒に初雪を見ました。娘が大きくなったら一緒に雪だるまを作りたいです(ひなママ&パパ 21歳・新屋)

● 昨年4月にシルバー人材センターの会員になりました。総会、親睦会、忘年会などにも参加しています。作業に対するみなさんのパワーはすごいものがあります。健康に気を配り、仕事にプライドを持って今年も頑張りたいと思います(鈴木美知子さん 61歳・豊岩)

● 秋田に越えてきて1年半が過ぎました。実家や友だちに「きりたんぼ」や「いぶりがっこ」を送ったところ、とても喜ばれました。北海道のスーパーではいぶりがっこは売っておらず、きりたんぼは売っているものの調理法が浸透していないせいか手が伸びないようです。作ってあげると「おいしい!」と言われるのですが、。県外のスーパーやデパートとタイアップしてもっとPRしたらいいのに、と思っています
(佐藤悦子さん 43歳・広面)

地域のお話 おしえて!!

飯島松根町内会50周年祝賀会で地域の歴史を紹介 まちの歴史を知る。愛着が生まれる

創立50周年を迎えた飯島松根町内会。昨年12月に開催された記念祝賀会で、その長い歴史を紹介する「松根町内の歴史紹介」が発表されました。これは祝賀会の運営委員長を務めた澤木隆志さんがパソコンを使って2か月がかりで制作したもの。町内の変遷や懐かしい写真などが会場のスクリーンに映し出されました。「自分が住むまちにこんな歴史があったんだなって分かること、それが愛着につながるのだと思います。また、資料を調べていくうちに、町内会の諸先輩の功績、そして頑張りに改めて感銘を受けました」と澤木さん。飯島松根町内会の長い歴史は、地域を愛するみなさんの力でまだまだ長く続きそうです。



図書館の資料や、同町内会が平成11年に発行した「37年の歩みと由来」を参考にして制作しました。



会場の飯島地区コミュニティセンターに集まったみなさんはスクリーンを見て「ほお～」と関心の声。



おしゃべりかわらばん



大森山ゆうえんちアニバのキャラクター「エクル」隊長

パワーもらった恩返しに

震災があつて心配したけど、遊園地(大森山動物園)で子どもたちが笑顔ではしゃいでいる姿を見て安心したよ。元気のパワーをいっぱいもらった恩返しに感謝の気持ちを込めて贈ります! またアニバで遊んでネ!!

絵本がいっぱい!

今日は紙芝居や歌を楽しみました。同じ階の子ども広場(フォンテAKITA6階)で遊んだことはありますが、フォンテ文庫は初めてです。絵本がいっぱいあるので絵本好きの息子にぴったりです。また来たいですね!



フォンテ文庫の催しに参加した猪原裕子さん(川尻)、康介ちゃん(1歳)

願い続ければ夢は叶う

アメリカ・カナダ間のロッキー山脈約5千キロを、日本人単独では初めて踏破しました。今後も冒険に挑戦し続けて、夢を追う素晴らしさ、そして、信じていれば夢は実現できるということ伝えていきたいです。



秋田大学を卒業後、世界各国の冒険に挑戦している阿部雅龍さん(東京都在住)

昔の遊びで元気に

子どもたちがたこ揚げや竹馬などで元気に遊ぶ姿を見るのが楽しみで、公民館の運営協力委員として世代間交流会のお手伝いをしています。お正月の恒例行事なのでこれからも続けていきたいですね。



東部公民館の世代間交流会に運営委員として参加した秋山勇吉さん(新藤田)

そり遊び楽しいな!

わくわくランド(仁別のオーパス内)は初めてです。子どもたちが安全に遊べるのがいいですね。また来ます(美林(しげる)さん)。そり遊び楽しかったな(美心(みみ)ちゃん)。そりがおもしろかったよ(美琥(みく)ちゃん)。



わくわくランドに来ていた高橋美林さん(広面)、美心ちゃん(左)、美琥ちゃん



12月26日、大森山ゆうえんちアニバから、東日本大震災の義援金として100万円を寄附していただきました。



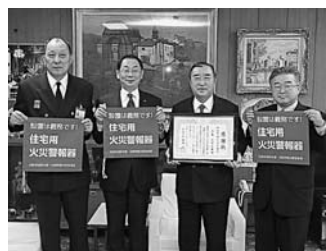
- 昨年は家庭菜園で、ミニトマト、キュウリ、ジャガイモ、ゴーヤを作りました。どれも豊作で大満足でした。今年も頑張つて作ろうと思つています(加藤礼子さん 62歳・外旭川)
- 版画講座に初参加! 版画の楽しさと難しさを体験しました。作品を鑑賞する目が変わります(高橋悦子さん 52歳・仁井田)
- ごみ袋はずりつと45リットルを使つていますが、いずれは20リットルのごみ袋になるようにごみ減量を頑張りたいです!(佐々木ゆみこさん 40歳・御野場)

係からひとこと

今年度から「広聴担当」として施設見学会も担当しています。市内のいろいろな場所を参加者のみなさんと一緒に見学し、私自身「発見中」の日々です。一番人気は「河辺」。河辺地域の施設見学会は夏から始まり最終回はみぞれ交じりの一日でした。涼しげな堰が走る鶴巻地区、紅葉の岨谷峡など、季節の移り変わりを一番楽しんだのは私かもしれません! ページに今年度最後の個人向け施設見学会のお知らせがあります。お見逃しなく!



新しい年を迎えまして。穏やかで良い1年でありますように。(寿子)



必ず設置しよう! 住宅用火災警報器

秋田市防火安全協会から住宅用火災警報器の普及促進に役立ててほしいと、同警報器の設置を啓発する小旗500枚を寄贈していただきました。小旗は消火栓などに設置します。ありがとうございました。



公共施設の修繕ありがとうございます!

御所野総合公園にある休憩所の補修や塗装をしてくれた秋田建築労働組合青年部のみなさんに感謝状をお贈りしました。同青年部は公共施設などを修繕するボランティア活動を毎年続けています。